

きょうだい間の臍帯血投与

高知大の研究計画承認

厚労省

厚生労働省の再生医療 与後2年間経過観察し、「適」と判断したのを受
等評価部会は、小児脳性 安全性のほか運動機能の け、高知大は厚労省に計
まひなど脳障害の症状改 改善など有効性を確認す 画書を提出。評価部会
善のため、きょうだいの るという。 は患者や提供者からどの

臍帯血（さいたいけつ） 厚労相認定の有識者委 ようにして同意を得るか
を投与する高知大の臨床 員会が3月、計画内容を などが議論されてきた。

研究計画を承認した。再 生医療の提供基準に適し
ていると判断した。

厚労省によると、再生 医療の分野で臍帯血のき
ょうだい間投与が認めら れるのは初めて。安全性
と有効性が確認されれば 治療に道が開けそうだ。

患者自身の臍帯血を投 与する臨床研究は行われ
ているが、出産時しか採 取できず保存する人も少
ないため、家族らからき ようだい間投与を求める
声が上がっていた。米国 では既に臨床研究が始ま
っている。

高知大付属病院の計画 書によると、臨床研究の
対象は1歳以上7歳未満 の8人で、小児脳性まひ
と、中等症以上の低酸素 性虚血性脳症の患者。投

掲載日 2020年9月29日 日本経済新聞 42面 共同通信配信

※無断複製転載を禁じます。